



6月1日から3日間、福島県いわき市小名浜にある「小名浜オーシャンホテル」で第22回青年対策交流集会が行われました。今回は地方開催により、東北地方青年婦人部が企画、運営を行い、被災地フィールドワークや分科会を行い、原発事故や放射線の危険性、帰還困難区域などについて全国から58名が集まり学習しました。大変有意義であったと参加者から声が寄せられていますので、一部分ですが抜粋して掲載紹介します。(東北地方青年婦人部書記長 武田陽介)



全日本港湾労働組合
第22回 全国青年対策交流集会

第22回青年対策交流集会

原発の危険性を改めて見つめ直す機会に

東北地方青年婦人部部長 井坂雄太

今回、自分の地元である東北地方での開催ということで、今まさに東北地方青年婦人部が取り組んでいる原発問題をテーマに皆さんに学んでもらうことにしました。震災から8年という月日が流れているのにも関わらず、何も変わらず忘れられつつある福島をもう一度見つめ直してもらいたい、そして自分たちが活動していることを理解してもらいたい、そういう思いで原発問題というテーマにさせていただきました。

日本海地方青年部部長 松田祐樹

福島での事故で危険性が顕になったのにも関わらずそれでも国は再稼働させようとしている現状は全く理解できません。第2の福島を出さないように反原発運動には今後も積極的に参加して、自分が感じたこと、見た事を多くの人に広げていけるよう活動していきたいと思っています。

関西地方青年部部長 南谷尚孝

視察中、国道114号線を移動しているとき「綺麗な川やな」と零れた声に誰かが「でも、泳げないよ」と言われたのが、心に刺さっています。この原発事故は人災であり、天災は人智を超える事を政府は理解していかなければ同じ事を繰り返すと感じました。過ちを繰り返さないためにも自分たちに何が出来るか、それをよく考えさせられました。



一同黙祷

関東地方横浜支部青年部副部長 鶴岡勇輔

今回の青対を経て貴重な体験が出来、分会、支部の仲間に伝える事からですが今の時代を生きる大人の責任として、子供達や次の世代に元のこの国を取り戻すため、そして残すために行動して行かなければと熱いモノを頂きました。



この先は帰還困難区域

東海地方清水支部青年部 高田祐次

同じ原発を抱える県として、今現在どこまで復興出来ているのかを勉強しようという思いで参加しました。一人一人が原発という「核」に対し知識を持ち、どう問題意識を持って行くか？また、次の世代へどう繋げて行くのが大切だと感じました。



東海地方名古屋支部青年女性部書記長 羽賀達也

実際に帰還困難区域に指定されている場所に、自分の脚で立って見た時にその空気の異様さを感じ、放射能という見えない物への恐怖を自分の肌で感じ取った結果「これは人間の手には負えない物だ」と心の底から思いました。

沖縄地方青年部部長 金城雄介

分散会では、原発は必要か不必要かという議題で行われました。初日に分散会を行ったのは、初めての事だったので驚きましたが、東北の方が「視察する前とした後では気持ちが違うはず」と言っていたのですが、沖縄県には原発がないので、もちろん不必要と回答しましたが、視察後、より一層原発は要らないと感じました。

九州地方苅田支部青年部 濱崎直哉

津波や地震の凄さを目で見て体験する事が出来ました。山道を移動中、綺麗な景色の山だったのですが、放射線量計のブザーが鳴った時に「ここでも鳴るのか」という気持ちに襲われ、放射線はただの恐怖でしかありません。放射線の怖さをしっかりと伝えていきたいと思っています。



フラガールの歓迎を受ける



線量計で放射線を測定



LOCAL 名古屋

名古屋支部、地域貢献の一環として出店
名古屋港みなと祭の際はお立ち寄りを！



名古屋支部の
前で出店



みなと祭り
で「たまや〜！」



皆さまこんにちは、東海地方名古屋支部の西脇です。昨年のこのコーナーで名古屋支部の日常の組合活動を紹介させて頂きました。今回は、7月(夏)号とのこともあり、名古屋港の花火見て夏を感じませんか？

名古屋港の花火と言えば、みなと祭(毎年海の日開催)の花火であります。花火の打ち上げ場所が名古屋支部事務所から近く、花火観賞の場としても最適となっています。花火の数は約3000発で、名古屋市営地下鉄「築地口駅」から港橋広場公園までの距離にして約600mの道路に出店が600店程並んでいます。来場者数は約35万人程(名古屋市港区の人口:約14万)と毎年賑わっており、築地口駅から名古屋港まで徒歩で移動しながら祭の雰囲気を楽しむのが良い感じです。(詳しくは名古屋みなと祭のHPにて)

毎年名古屋支部は、地域貢献の一環として事務所前で出店をしています。みなと祭にお越しの際は是非寄ってみて下さい。(東海地方名古屋支部 西脇 敬)



うさぎさん
疲れました〜

決定！青年活動年間スローガン

全国の仲間と絆を繋いで一致団結！
全港湾青年部！！

(名古屋支部全検分会 河村慎也 応募)



今年もがんばる〜